



GPS/JIPS 安全性要約書

物質名 (SUBSTANCE NAME)

n-ヘキサン

物質の概要 (GENERAL STATEMENT)

n-ヘキサンは、無色の透明な揮発性液体で、特異な臭気をもちます。溶媒への溶解性は、水に難溶、アルコール、エーテルに可溶です。蒸気は空気より重く、地面あるいは床に沿って移動することがあります。

本製品は、半導体関連の洗浄溶剤に使用されます。

火気、衝撃火花など厳禁です。容器は密栓し、冷所に保管することが必要です。専門業者がサンプリング作業などで本物質にばく露される可能性がある場合には、適切な設備において保護具を使用することにより、吸入や皮膚、眼への接触による健康への影響を最小化する必要があります。

また、廃棄では、適切な排水処理や産業廃棄物としての処理が必要となります。

化学的特性 (CHEMICAL IDENTITY)

項目	
一般名	n-ヘキサン、ヘキサン、メチルペンタン
商品名	アデカ高純度ヘキサン
化学名	n-ヘキサン
CAS番号	110-54-3
その他の番号	官報公示整理番号(化審法・安衛法) (2)-6 EC番号 203-777-6
分子式	C ₆ H ₁₄
構造式	H ₃ C-(CH ₂) ₄ -CH ₃
その他の情報	特になし
出典・備考	(株)ADEKA発行のSDS 3項 参照

使用・用途と適用 (USES AND APPLICATIONS)

当社製品の主な用途	半導体関連の洗浄溶剤
-----------	------------

物理化学的特性 (PHYSICAL/CHEMICAL PROPERTIES)

項目	値	
分子量	86.18	g/mol
蒸気圧	16000	Pa
蒸気圧の温度	20	mg/L
水溶解度	13	Kow
水溶解度の温度	20	°C
オクタノール/水分配係数	3.9	Kow
出典・備考	(株)ADEKA発行のSDS 9項 参照	

ヒト健康影響 (HEALTH EFFECTS)

影響項目	結果 [GHS危険有害性分類 ^(注1)]
急性毒性(経口)	区分外 ^(注3)
急性毒性(吸入-気体)	分類対象外 ^(注2)
急性毒性(吸入-蒸気)	区分外
急性毒性(吸入-粉塵/ミスト)	分類できない ^(注4)
急性毒性(経皮)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性/ 刺激性	分類できない
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分2
特定標的臓器(単回ばく露)	区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器(反復ばく露)	区分2(臓器特定不可)
吸引性呼吸器有害性	区分1
出典・備考	(株)ADEKA発行のSDS 2.11項 参照

(注1) GHS(Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals): 世界的に統一されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類し、その情報をラベルで表示し、安全データシートを提供するシステム。
 (注2) 分類対象外; GHS で定義される物理的性質に該当しないため、当該区分での分類の対象となっていないもの。
 (注3) 区分外; GHS で規定する一番低い有害危険性区分と判断する十分な根拠がみあたらなかった場合。
 (注4) 分類できない; 分類を確定するための十分に信頼性のあるデータがなく、分類できない場合。

環境影響 (ENVIRONMENTAL EFFECTS)

影響項目	結果 (GHS危険有害性分類)
水生環境有害性(急性)	区分2
水生環境有害性(慢性)	区分外
オゾン層への有害性	分類できない
環境中の移行性	特記事項なし
好氣的生分解性	易分解
生物蓄積性	生物蓄積性は高いと考えられます
PBT/vPvBの結論 ^(注)	PBT、vPvBいずれにも該当しないと考えられます
出典・備考	(株)ADEKA発行のSDS 12項 参照

(注) PBTとは、「Persistent, Bioaccumulative and Toxic」を略したもので、環境中に残留し、高い生物蓄積性と強い毒性を有する物質のことです。またvPvBとは、「Very Persistent and Very Bioaccumulative」を略したもので、環境中に非常に残留し、非常に高い生物蓄積性を有する物質のことです。

ばく露 (EXPOSURE)

項目	ばく露
作業者ばく露	当該物質は、閉鎖系での作業に用いられ、作業者に対してほとんどばく露の可能性がないが、メンテナンス、サンプリング、試験、手動での輸送などの作業の際に、ばく露する可能性がある。 また、流出を最小化するように設計された条件での小容量コンテナへの物質や調剤の移し替え作業において、作業者への経皮・吸入ばく露の可能性がある。
消費者ばく露	当該物質は、一般消費者にて使用されることは、ありません。
環境ばく露	当該物質は、閉鎖系プロセスで製造・使用されるので、環境への排出の可能性は極めて限られます。

推奨するリスク管理措置 (RISK MANAGEMENT RECOMMENDATIONS)

項目	推奨するリスク管理措置
対作業者ばく露	最新のSDSを入手し、SDS記載のガイダンスに従うこと。 作業の際は、適切な保護具を着用し、適切な局所排気を適用する。また、当該物質については、ACGIH(米国産業衛生専門家会議)により、作業環境許容濃度の勧告値として、50ppm(TWA-1時間加重平均値)が公表されており、製造・使用場所においては、この勧告値を下回る環境濃度となるよう管理・制御する。 作業責任者は、作業者に適切な保護具の選択や正しい使用方法、または作業現場の管理方法等の教育を実施する。 緊急時のシャワーと洗眼水の場所はアクセスの良い場所に設置するとともに、換気の良い場所で使用する。
対消費者ばく露	当該物質は、一般消費者にて使用されることは、ありません。
対環境ばく露	適切な排水処理施設や排ガス処理施設を設置する。また、漏洩防止策を講じ、定期的な排出量の確認、日常管理、取り扱いに注意を払う。 付近の発火源を取り除くこと。

法規制情報 / ラベル情報 (REGULATORY INFORMATION / LABELLING INFORMATION)

法規制情報

法律	内容
化審法	優先評価化学物質
化学物質排出把握管理促進法	第1種指定化学物質
消防法	危険物 第4類第1石油類非水溶性 危険等級Ⅱ
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物/名称等を通知すべき危険物及び有害物
毒物及び劇物取締法	非該当
船舶安全法	危告示 別表第1 引火性液体類
海洋汚染防止法	有害液体物質 Y類
国連分類	3
国連番号	UN1208 "HEXANES"
容器等級	Ⅱ

ラベル情報

絵表示又はシンボル	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	引火性の高い液体および蒸気。 皮膚刺激。 生殖能力または胎児への悪影響のおそれの疑い。 気道刺激を起こすおそれ。 眠気やめまいのおそれ。 長期または、反復暴露により臓器(臓器特定不可)の障害のおそれ。 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。 水生生物に毒性。

注意書き	<p>【安全対策】 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。 容器を接地すること／アースを取ること。 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。 火花を発生しない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。 容器を密閉しておくこと。 取扱い後はよく洗うこと。 使用前に取扱説明書入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。</p>
	<p>【応急措置】 皮膚又は髪に付着した場合は、直ちに、汚染された衣類を全て脱ぎ、取り除く。 皮膚を流水、シャワーで洗うこと。 火災の場合には、消火に霧状の水、粉末消火器、炭酸ガス消火器、泡消火器、乾燥砂を使用すること。 飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡すること。 特別な処置が必要である。 気分が悪い時は、病院か医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹼で洗うこと。 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断、手当を受けること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。 無理に吐かせないこと。</p>
	<p>【保管】 涼しい所、換気の良い場所で保管すること。 施錠して保管すること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。</p>
	<p>【廃棄】 内容物や容器の廃棄を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>

連絡先 (CONTACT INFORMATION WITHIN COMPANY)

会社名	株式会社ADEKA
住所	東京都荒川区東尾久7-2-35
担当部門	環境保安・品質保証部
電話番号/FAX番号	03-5691-8652 / 03-3809-8222

発行・改訂日 (DATE OF ISSUE/REVIEW) その他の情報 (ADDITIONAL INFORMATION)

初版: 2015年4月2日

改訂情報:	改訂日	項目	改訂箇所

特記事項: なし

免責事項 (DISCLAIMER)

この製品の安全要約書の目的は、対製品の情報を簡単な概要として提供することであり、リスク評価のプロセス及びヒト健康や環境への影響などの専門的な情報を提供するものではありません。

また、安全データシート(SDS)、または化学品安全性報告書(CSR)などのリスク評価に代わる文書として作成されたものではありません。

また、記載内容は現時点で入手している法令、資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、いかなる保証をなすものではありません。